

会社の概要 (2020年6月19日現在)

商 号	株式会社 ノジマ(コード:7419)
英 文 名	Nojima Corporation
設 立	1962年4月
資 本 金	63億3,050万円
役 員	<ul style="list-style-type: none"> ●取締役 兼 代表執行役社長 野島 廣司 ●取締役 兼 代表執行役副社長 野島 亮司 ●取締役 兼 常務執行役 福田 浩一郎 ●取締役 兼 常務執行役 温盛 元 ●取締役 兼 執行役 鍋島 賢一 ●取締役 兼 執行役 富所 貴生 ●取締役 兼 執行役 田中 義幸 ●取締役 兼 代表執行役 星名 光男 ●取締役 兼 代表執行役池田 純 ●取締役 兼 代表執行役山田 隆持 ●取締役 兼 代表執行役堀内 文子 ●取締役 兼 代表執行役江藤 美帆 ●執 行 役 大嶽 友洋 ●執 行 役 國井 弘文 ●執 行 役 日坂 聰
従業員数	社員 6,786名 / 契約社員・パートタイマー 3,415名 (連結) (2020年3月31日現在)

株主メモ

決 算 期	毎年3月31日に決算を行います。
定 時 株 主 総 会	毎年6月に開催いたします。
基 準 日	3月31日
中間配当基準日	9月30日(中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (お問い合わせ先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
公 告 掲 載 電 子 公 告	公告掲載URL https://www.nojima.co.jp/ir ※やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主優待のご案内

株主優待券	3月31日および9月30日現在で譲り受けた方に対し、年2回贈呈
利 用 方 法	現金、デビットカード、ノジマショッピングクレジットによる支払いの場合には優待割引券の使用により購入金額の10%が割引になります。またクレジットカード、ノジマエポスカード、ノジマジャックスカードによる支払いの場合には優待割引券の使用により購入金額の8%が割引になります。但し、ノジマオンラインでの購入の場合は後日ノジマオンラインポイントにてポイント返還、または相当額を銀行振込にて割り戻します。詳細については、株主優待券同封書類をご参照ください。
有 效 期 限	● 3月31日発行基準の優待割引券／翌年1月31日まで有効 ● 9月30日発行基準の優待割引券／翌年7月31日まで有効
取 扱 店 舗	<ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社ノジマの全店舗（詳しくは当社ホームページ (https://www.nojima.co.jp) をご参照ください） ● ノジマオンライン※店舗のない地域にお住まいの株主で、ご優待割引券を使用して、当社の取り扱い商品をお買い求めになりたい方は、ノジマオンラインでのご利用をお薦めします。



<https://www.nojima.co.jp>



東証一部上場



2020
健康経営優良法人
Health and productivity



スポーツを通じて日本を元気に

株式会社 ノジマ 〒220-6126 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番3号 クイーンズタワーB 26階
TEL.045-228-3546(代) FAX.050-3116-1250

「投資家のみなさま」問い合わせアドレス info@nojima.co.jp

■ IR情報Webサイト <https://www.nojima.co.jp/ir>

IR情報ページでは、決算短信、有価証券報告書等のIR関連資料、株式事務に関する情報といった株主・投資家の皆様のための情報をご覧いただけます。

■ ノジマオンライン ホームページURL <https://online.nojima.co.jp/>

Nojima

株主のみなさまへ

第58期 事業報告書 2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日



お客様に デジタルGS4を普及させ、日本の発展に貢献する。 【Goods・Soft・Support・Service・Setting】 デジタル一番星

■ 全員経営理念

～お客様にさらに信頼されるノジマへ～

- 社会に貢献する経営
- オープンで公正な経営
- 独創的で革新的な経営
- 人間愛がある経営
- 向上心がある経営



■ ごあいさつ	P. 2
■ トップメッセージ	P. 3 ~ 4
■ 各事業セグメントについて	P. 5
■ 新店紹介/店舗数推移	P. 6
■ 新型コロナウイルス対応について	P. 7 ~ 8

■ トピックス	P. 9 ~ 10
■ CSRの取り組み	P. 11 ~ 12
■ 財務ハイライト	P. 13
■ 決算の概況	P. 14
■ 会社の概要／株主メモ／株主優待のご案内	P. 15

株主の皆さんには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2020年3月31日をもちまして、第58期の営業を終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策等の効果もあり、緩やかな景気回復基調で推移しておりましたが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の影響を受け、足下の景気は非常に悪化しております。また、消費者マインドの悪化とともに、個人消費は急速に減少しております。

海外においても、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、景気は急速に悪化しており、極めて厳しい状況にあります。

家電販売業界につきましては、TVはオリンピックに向けての買い替え需要があつたことにより、好調に推移したほか、冷蔵庫、エアコンは堅調に推移し、業界全体では堅調に推移しました。PC本体等は消費増税や、Windows7のサポート終了に伴う駆け込み需要及び新型コロナウイルス感染症対策のための在宅勤務の増加により、販売は一時的に増加しております。

携帯電話等販売業界につきましては、2019年10月1日より施行された電気通信事業法の一部改正による、販売競争の抑制と、それに伴う買替サイクルの長期化の影響を受け、需要が低迷しております。また、新型コロナウイルス感染症への対策として一部店舗の休業等を行った影響もあり、キャリアブランドの端末販売台数は低調な推移を続けております。

インターネット接続サービス業界につきましては、スマートデバイス普及による場所を選ばないインターネット利用への移行が進展するなかで、固定系ブロードバンド接続サービスは、IoT市場の拡大を背景に、主力のFTTH接続サービスの契約数の伸び率が底堅く推移しております。他方、インターネット広告市場につきましては、検索連動型広告に加え、動画広告などの運用型広告が拡大基調にあります。

海外市場につきましては、シンガポールにおいては米中間の通商問題を巡る緊張の増大の影響を受け、経済が停滞していたことに加え、本年3月に入り、新型コロナウイルス感染症対策として、シンガポール、マレーシア、インドネシアにおいて、ロックダウンによる社会全体の活動制限が行われ、足下の経済は極めて厳しい状況となっております。

このような状況下におきまして、当社グループは「デジタル一番星」、「お客様満足度No.1」を常に追求し、その実現のために「選びやすい売場」及び「お客様の立場に立った接客」を心がけ、コンサルティングセールスのレベルアップやお客様のニーズに合致したサービスの充実に取り組んでまいりました。

デジタル家電専門店運営事業では、変化するお客様のライフスタイルに応えるため、勉強会や研修を通して知識・経験の共有及び深化を図り、お客様のニーズを満たす新しい商品・サービスの充実に取り組んでおります。

キャリアショップ運営事業及びインターネット事業では、新卒社員の採用強化や、教育・研修の推進、更に当社グループにおける経営方針の共有を通じて、グループとしての一体感を醸成するとともに、生産性の向上及び一層の店舗品質の向上に取り組んでおります。

海外事業では、2019年2月よりCourts Asia Limitedをグループに加え、グローバルにグループ内の人材育成・販売ノウハウを活用し、より多くのお客様に喜ばれるよう、コンサルティングセールスの導入に取り組んでおります。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は5,239億68百万円(前年同期比102.1%)、営業利益は225億82百万円(前年同期比117.5%)、経常利益は242億18百万円(前年同期比115.1%)、親会社株主に帰属する当期純利益は159億11百万円(前年同期比107.4%)となりました。

なお、当期の期末配当につきましては、業績動向を踏まえ、前期より2円増配し、1株につき20円とさせていただきました。

今後とも、グループの総合力を高めながら、株主の皆さまのご期待に応えられるよう、さらなる企業価値の向上に努めてまいりますので、

代表執行役社長 野島廣司

■ トップメッセージ

5期連続、最高益を実現できました。 生活環境が大きく変化していく中で 人財育成で質が伴う成長を継続してまいります。

ノジマグループ

新型コロナウイルス感染症により、亡くなられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方、不安で辛い日々を過ごされているすべての皆さんに心からお見舞い申し上げます。

また、感染拡大防止にご尽力されている皆さまには深く感謝申し上げます。

ノジマグループの第58期が終了いたしました。ノジマグループはデジタル家電専門店運営事業、キャリアショップ運営事業、インターネット事業、2019年4月より海外事業を加えた4つの柱で前期進めてまいりました。

国内マーケットは、2019年10月の消費税増税や新型コロナウイルス感染症の影響などがございましたが、グループ全体では增收増益となりました。

2019年5月15日にスルガ銀行と業務提携に関する基本合意書を締結し、2020年5月19日には、スルガ銀行と新たに、資本業務提携に関する合意書を締結いたしました。また、2020年5月26日にスルガ銀行株式会社の銀行主要株主になることについての認可を取得いたしました。日本で初めての金融と実業による新しいサービスの創出、提供を通じた地域活性化に貢献できるように両社で進めてまいりたいと考えております。

また、前期の期末から新型コロナウイルス感染症拡大等の影響を受け、厳しい状況下ではございますが、お客様と従業員の安全と健康の確保を最優先に感染拡大防止を行

ったうえで、今期も地域の皆様に必要とされる商品やサービスの提供を努めてまいります。

デジタル家電専門店運営事業

デジタル家電専門店運営事業については、5年連続最高益を達成することができました。

マーケットについては、2019年10月の消費税増税などの影響もあり家電市場については縮小傾向となっている中で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今期も厳しい状況が続くと予想されております。

前期は、全店への電子プライスの導入、クレジット決済端末の設備投資を行い、従業員がよりスピードをもって、ご来店いただいたお客様のニーズに合わせたコンサルティングセールスをすることが可能となりました。

市場は、新型コロナウイルスの影響を受け、大きな変化が起きております。その変化に対応できるように、店舗運営を進めてまいります。

キャリアショップ運営事業

キャリアショップ運営事業については、2020年3月より「5G」の運用がスタートし、2020年4月から楽天の携帯電話事業の新規参入と市場環境は大きく変化しております。

電気通信事業法の一部改正や、新型コロナウイルス感染症による一部休業店舗の影響もあり、売上高は低調に推移

いたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響では、今までお客様がショップにご来店していた対応がウェブ契約へと変化してきております。そうした中で、お客様のニーズに合わせたコンサルティングセールで快適なライフスタイルの提供ができるショップ運営が、ITX(アイテー・エックス)、アップビート共に重要となっております。

また、市場のキャリアショップの店舗数は減少が予測されている中で、既存店舗のより良い場所への移転、改装を行いながら、質の高いショップ運営を進めてまいります。

インターネット事業

インターネット事業については、サービス開始から33年間で築きあげた安心・安全のブランドを背景に、ご利用くださるお客様に喜んでいただけるサービスの拡充に注力いたしました。

ネットワークサービス事業では、会員数純増のためにFTTH接続サービスにおいて「@nifty光」およびドコモ光の新規獲得を@niftyWEBサイトでの直販に加え、ノジマグループの各店舗にて積極的に展開したほか、オプションサービス獲得強化にも努めました。

WEBサービス事業では、子会社のニフティライフスタイル社が展開するマーケットプレイス事業が好調に推移いたしました。

この結果、減収となったものの増益を達成いたしました。59期については、収益安定化の確実性を高めるため、直販チャネルの強化と差別化できるサービスの創出・拡大に努めてまいります。

海外事業

海外事業につきましては、2020年5月よりCourts Asia Limited(コーツ社)を完全子会社化し、ノジマカンボジアと合わせて、事業を進めてまいりました。

コーツ社については、構造改革を進め販管費の削減を進めることができましたが、今後の市場変化に備えて、自社クレジット販売に頼った戦略から、お客様のニーズに合ったより良い商品、サービスを提供するコンサルティングセールでお客様に喜ばれる店舗運営を進めてまいります。

シンガポール、マレーシア、インドネシアでは、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言やロックダウンによる影響もあり厳しい状況となっておりますが、コーツ社を中心として、ノジマ流の考え方や人材育成で改革を今期も進めてまいります。

株主の皆様へのメッセージ

継続的な成長と安定配当を当グループは基本方針としております。上場以来一度も減配することなく配当を続けてまいりました。

新型コロナウイルスの影響は、ノジマグループとしても大きな影響となります。前期も最高益を上げることができたことから、期末配当を2円増配し、中間18円(記念配当2円)、期末20円、通期では40円の配当といたします。

ノジマグループ全体を発展させていくためにも、財務体质の強化と新しい挑戦を積極的に行い、変化に対応をしていきたいと考えております。今後とも株主の皆さんに、継続してご支援いただけますよう、心よりお願い申し上げます。



